

第48回

岡山県精神保健福祉大会

～変わらない心の原点を求めて～

平成22年11月8日(月)

12時45分～16時00分

岡山衛生会館内 **三木記念ホール**

岡山市中区古京町1丁目1-10 (県庁通り相生橋東詰)



式典 12:45～13:50

精神保健福祉事業功労者表彰

精神保健福祉基金助成金贈呈

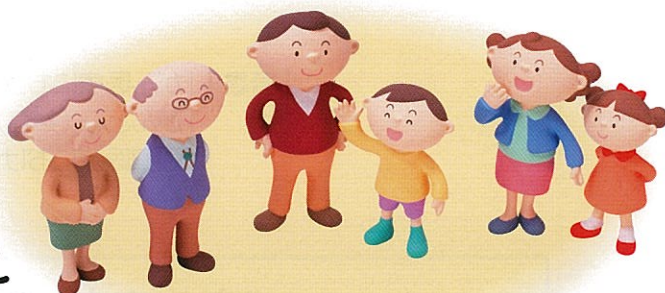
記念講演 14:00～16:00

演題：**がんを抱えた時の心構え**

講師：うちとみ内富 ようすけ庸介先生

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

精神神経病態学講座教授



関連行事

作品展示・即売会等：11:00～16:20

チャリティーバザー：12:00～売切れ次第終了

入場無料

事前予約不要

主催 (社)岡山県精神保健福祉協会 TEL 086-272-8839

共催 岡山県

後援 岡山県教育委員会・岡山市・岡山市教育委員会・(社)岡山県医師会・岡山県精神科病院協会
岡山県精神科医会・(社)岡山県看護協会・(社)日本精神科看護技術協会岡山県支部
(NPO)岡山県精神障害者家族会連合会・(福)岡山県社会福祉協議会
岡山県愛育委員連合会・岡山県民生委員児童委員協議会・(財)岡山県老人クラブ連合会
(社)岡山県作業療法士会・岡山県臨床心理士会・(福)岡山いのちの電話協会
(NPO)岡山県断酒新生会・岡山県精神保健福祉士協会・岡山県医療ソーシャルワーカー協会
岡山県精神神経科診療所協会・岡山県がん診療連携協議会

企画運営：岡山県精神保健推進委員会



講師：内富庸介教授

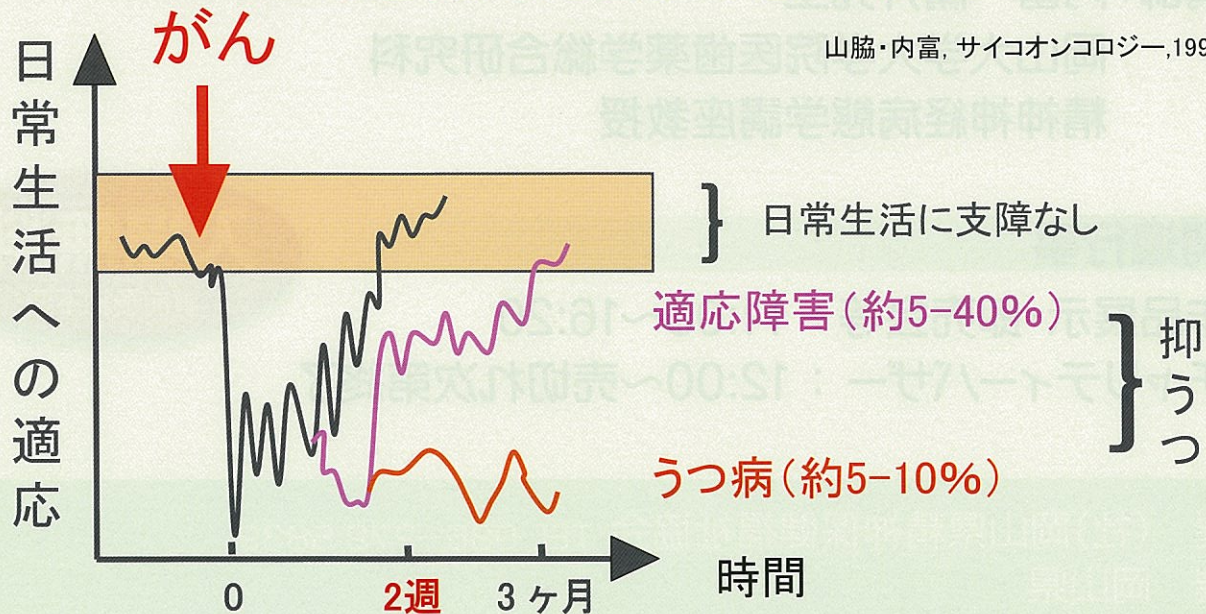
講師略歴

1984年に広島大学医学部を卒業し、88年国立呉病院・中国地方がんセンター精神科医師としてがん患者の精神的ケアに携わり、91年米国スロンケタリングがんセンター記念病院でがん患者の精神的ケアについて研修。93年広島大学医学部神経精神医学教室に転任し、がん患者のクオリティオブライフ(生活の質、生命の質)に関する医学教育に従事。95年国立がんセンター研究所支所精神腫瘍学研究部の創設に携わり、2010年4月現職に就任。専門分野は、がんの診断後に生じる落ち込みや不安のケア。96年国際サイコオンコロジー学会から若手研究員賞、2006年Bernard Fox記念賞。サイコオンコロジー学会理事。

- 著書 | 「がん医療におけるコミュニケーション・スキル」(1)(2)
 「がんと心(共著)」
 「緩和医療における精神医学ハンドブック(翻訳)」他

がんを抱えたときの心の状態

山脇・内富, サイコオンコロジー, 1997



多くの方は、がんを伝えられて2週間以内に日常生活に支障のない状態に回復しますが、一部の方は回復せずに適応障害やうつ病に相当する苦痛を抱えます。この苦痛のためにがん治療を続けられないこともあります。あらかじめ心への影響を知ること、早めに対応ができることが分かっています。